

＜名古屋大学医学部附属病院において色素細胞系皮膚腫瘍・角化細胞系皮膚腫瘍・ 皮膚色素角化異常症で診療を受けられた皆様へ＞

【研究課題名】環境因子により誘発された疾患の発症機構と病態解析を通して
予知・予防法を開発する

【目的・意義】水銀等の重金属・放射線・アスベスト等、我々を取り巻く環境中の物質（環境因子）は、ヒトの健康に多大な影響を与えます。近年、環境中の物質が遺伝子機能を修飾して疾患を誘発する機構が、細胞や動物レベルで詳しく解析されるようになってきました。さらに、加齢は環境と遺伝子の両方に影響を与える因子として、疾患の発症に大きな影響を与えます。一方、色素細胞は、皮膚や耳等の感覚器に存在し、周囲の角化細胞や線維芽細胞とともに、環境からの刺激を感知することがわかってきました。本研究では、患者さんと健常人、あるいは、環境因子曝露群と対照群で検体を比較することにより、我々を取り巻く環境中の物質が、遺伝子の機能や発現を修飾し、疾患を誘発するかどうかを評価することを目的として、遂行されます。本研究により、我々を取り巻く環境中の物質の健康へのリスクを評価し、環境基準値等を提案するとともに、病気の原因となる環境を整備し、病気の発症を予防し、人々の健康増進に貢献することができると考えています。

【研究機関】本研究では、名古屋大学を中心として、国内（中部大学・熊本大学・聖マリアンナ医科大学・愛知医科大学・東邦大学・信州大学・芝浦工業大学・名古屋第二赤十字病院・福井大学・名古屋市立大学・名古屋市衛生研究所・富山大学・北海道大学）と国外（ベトナム国立大学・ハノイ技術大学・ダッカ大学・マレーシアサバ医科大学・バングラデシュシークムジブ医科大学・アフガニスタン保健省・インドネシア大学・アンダラス大学・バングラディッシュ健康科学大学・バングラデシュ保健家族福祉省）の研究機関において実施されます。

【方法】名古屋大学においては、メラノーマや各種母斑を含む色素細胞系皮膚腫瘍、扁平上皮癌・基底細胞癌を含む角化細胞系皮膚腫瘍、円形脱毛症に代表される脱毛症や白髪を含む皮膚色素角化異常症の患者さんと健常人（ボランティア）の方を対象とし、①腫瘍および毛髪を含む皮膚組織の既存試料（患者さんのみ）、②非侵襲的に採取できる爪・毛髪・尿を含む生体試料採取、③聴力検査・平衡機能検査等の感覚器検査を含む非侵襲的生理機能検査、④曝露されている環境因子の調査（アンケート調査および環境モニタリング）を実施させていただきます。

＜既存試料の提供について＞

倫理審査委員会の承認のもと、メラノーマや各種母斑を含む色素細胞系皮膚腫瘍、角化細胞系皮膚腫瘍、白髪や各種脱毛症を含む皮膚色素角化異常症の患者さんの腫瘍および毛髪を含む皮膚組織標本（病理組織用のブロックや病理組織標本）を使用させていただき、遺伝子がどの程度でているか（発現）、どのくらいの作用を持っているか（活性）を調べさせていただきます。

＜プライバシーの保護について＞

個人のプライバシーは厳しく守られます。具体的には、国が定めた基準（「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」および「疫学研究に関する倫理指

針」) にしたがって厳重に保護します。結果の公表に際しては、個人名が特定されることは一切ありません。研究中の解析に用いる①既存試料、②非侵襲的に採取できる生体試料採取、③非侵襲的生理機能検査、④曝露されている環境因子の調査は、個人を特定できないように番号をつけて匿名化して保管します。また、本研究には匿名化した試料を用いるため、研究者はだれの調査資料を解析しているのかわかりません。遺伝子解析結果を含む情報についての対応表は、研究に参加しない個人情報管理者が厳重に管理し、外部に漏れないようにします。共同研究機関に対して生体資料を送付して検査を実施する場合は、匿名化した状態で行います。共同研究機関に個人情報付きの調査資料を送付する場合は、個人情報保護条例などに定められた手続きを経た上で行き、当該施設内においては、匿名化され研究に必要な解析に用いられます。

苦情や質問の受付先

研究事務局

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学大学院医学系研究科 環境労働衛生学

電話：052-744-2124、FAX：052-744-2126

Email: meisei@med.nagoya-u.ac.jp

(研究途中での同意の撤回も上記事務局までご連絡ください。)

名古屋大学医学部経営企画課 臨床審査公正係

住所：〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

電話：052-744-2479